

梅雨の合間にも日差しの強い日があり、子どもたちは季節の移り変わりの中で、戸外活動を思いっきり楽しんだり、室内での遊びをじっくりと楽しんだりして過ごしています。

これから暑い夏がやってきます。大人も子どもも暑さに負けない体作りを、今からしていきましょう！



## 運動会



前日までの雨天で体育館と校庭とどちらで実施するか、ギリギリまで検討し、最終的に外で行うことと致しました。当日は晴れ間ものぞき、芝生の上で行うことができ、子どもたちの笑顔のまぶしさはまたひとしおでした。

子どもたちは緊張しながらも、見てもらえる、一緒に楽しめるという嬉しさが表情にもたくさん出ていましたね。

今年度は、感染症対策で縮小していたところも見直しながら少しずつ取り入れております。アンケートでは、様々なご意見、ご感想をいただき、改善点は見直し、楽しかった、よかったと言ってくださった部分は来年に継続、より良いものにできるよう、活かしてまいります。

卒園児、兄弟児の方もたくさん参加くださり、本当に嬉しく、より来たくなる保育園となっていきたいと改めて思っております。

お忙しい中、ご参加くださり本当にありがとうございました。

7つの項目に合わせて(言語・数量・知識・推理・記憶・知覚・構成)

## 数量

### 数や比較を考える力

生活の中でもたくさん触れる機会がある数量は、教材に触れている間だけでなく、身近なもの結び付けて伝えられるようにしています。

幼児クラスでは、椅子の数と子どもの数、配膳のお皿の数、おかずの量、重さのはかりのおもちゃや水差しの量など経験と数が結びつくように言葉かけを行っています。コーナー保育を取り入れている為、子どもたちがこれは何だろうと思っている瞬間に、その子に対して声をかけられることを大切にしています。

0.1.2歳は、様々なもの・素材を知る事から始まります。そこから感覚的に大小・長短・高低の違い、物の数などを知り、幼児の理解に繋げていきます。

学びは経験の中でどれほど興味を持てたかが大切だと思います。経験のないものへの興味関心を育てるためにも、初めて行うことも楽しい！と思えるようになっていって欲しいと思います。

じっくり楽しむ子、友だちとの共感が楽しい子、驚きを思いっきり表現する子…それぞれの興味関心の表現を受け止めつつ、無理やり伝えるのではなく、広げていきたいと思えます。





# 行事予定


### ★お知らせ

これから気温の上昇に合わせ、今年度もしっかりと熱中症対策を行ってまいります。  
基準に関しては保健だよりにてお知らせしております。  
室内活動への変更になる場合でも雨天時同様、動的活動を選べるように計画してまいります。

・保育実習を行います  
7月17日より保育実習の学生が入ります。  
保育の大切さ、子どもたちへの関わり、子どもたちと過ごす楽しさを伝え、保育士育成につなげていきたいと思っております。私たちも学生の思いに触れ、保育の振りかえりにつなげてまいります。

### ★保育参加について

懇談会で紹介しておりますが、保育参加を再開しております。  
日程によってはスポーツプロジェクトなども申請いただくと、見ることができますので是非ご検討ください！



# 保育のページ

0歳児  
あひるぐみ



室内では触れ合い遊びや手遊び歌を行っています。高・中月齢児は、保育者の姿を見て腕を動かしたり拍手をしたり、歌に合わせて身体を揺らすなどして楽しむ姿が見られています。低月齢児は、身体に触れながら声をかけると笑顔が見られ、保育者との触れ合いを喜んでいきます。今後も様々な触れ合い遊びや手遊び歌を取り入れ、子どもたちとの関わりを大切にしていきたいと思います。

また、梅雨に入り室内で過ごす時間が増え、ハイハイマットや大型ソフトブロックを使い身体を動かしています。初めての遊びでは、少し離れたところから観察する姿も見られますが、他児が遊ぶ様子を見たり、保育者が側で遊び方を伝えたりすることで興味を持ち、触ったり登ったりして遊んでいます。今後もリズム体操やトンネルなど体を動かせる遊びを多く取り入れたいと思います。

## 🐣 今月の目標 🐣

- ◇感染症に留意しながら、清潔に保ち快適に過ごせるようにする
- ❖個々の発達に合った様々な感触遊びに触れる



1歳児  
うさぎぐみ



お昼寝の際「ここ！」と自分の布団の場所を保育者に伝えながら横になったり「あっち！」と友だちに布団を教えたりしている姿が見られるようになってきました。布団に横になると、隣り合う友だちと微笑み合ったり喃語を発し合ったりしながら次第に入眠しています。徐々に一人で入眠する姿が見られるようになってきた子どもおり、成長を感じています。今後もおうちのような温かい雰囲気の中で安心して休息できるようにしたいと思っています。

触れ合い遊びが好きな子どもたち。「一本橋こちょこちょ」が特にお気に入り、保育者が一人の子どもと遊んでいると次々に子どもたちが集まり「やって」と言いながら触れ合い遊びを行う体勢になっています。笑い声が部屋中に広がり、とても楽しい時間となっています。引き続き、触れ合い遊びを通してスキンシップを大切にしながら子どもたちと楽しく遊び、関わっていけたらと思っています。

## 🦋 今月の目標 🦋

- ◇身体を清潔にして気持ち良く過ごせるようにする
- ❖夏の自然に触れ、十分に身体を動かす



2歳児  
ひよこぐみ



友だちや保育者との関わりを楽しみながら、活動や自由遊びを行っています。活動や自由遊びの後は、保育者の言葉掛けを聞いて友だちに「お片付けだよ」と伝えたり、使った玩具を友だちと一緒に協力して片付けを行ったりしています。片付けを行う中で「お片付け～お片付け～」と歌い、片付けも楽しみながら取り組んでいます。

食事では、「こう？」と保育者に食具の持ち方を確認しながら、少しずつ下手持ちに挑戦して食事を行っています。苦手な食材がある中、友だちが食べている様子を見て、食べてみようという気持ちになり「食べてみる！」と様々な食材に触れようとする姿も見られます。楽しい雰囲気の中で様々な食材に触れたり興味を持ったりしていけるように、日々の活動にも食材や栄養士との関わりを増やしていきたいと思います。

## 🌸 今月の目標 🌸

- ◇汗の始末を行ってもらいながら快適に過ごそうとする
- ❖水に触れ、夏ならではの遊びの楽しさを味わう





🐾 今月の目標 🐾

3歳

- ◇快適な環境の中、夏を健康に過ごせるようにする
- ❖水・砂・泥など様々な感触に触れる

4歳

- ◇安心して自分の気持ちを保育士等や友だち、異年齢児に表現できるようにする
- ❖夏の生活に必要な習慣を少しずつ身に付ける

5歳

- ◇休息の大切さを理解できるように促し、活動とのバランスをとりながら生活できるようにする
- ❖夏の生活の仕方を知り、快適に過ごす

【たくさんの発見】

カブトムシの成虫が土から出てきたことや撒いた種の芽が出来たことに気づき、生き物の成長に興味を持つ姿があります。最近では「カブトムシさんはどんなご飯を食べるんだろう?」「ここだと狭いから広いところに植えてあげよう!」と、生き物の気持ちを考える姿もあります。進んでお世話をしてくれる姿もあり、「先生、カブトムシさんのご飯がないからあげよう!」「お水が飲みたいかもしれない!」と、思いやりの気持ちを持ってお世話をしてきています。また、戸外活動での虫探しや植物観察にも興味を持ち、「これは何の虫なんだろう?」「このお花いい匂いがするよ!」と、気付いたことを友だちや保育者に話す姿もあります。さらに、自分が気付いたことや気になったことは友だちに聞いたり図鑑で調べたりして、興味関心をも深めています。様々なことに興味を持って取り組む姿が増えた子どもたちの興味関心の芽が育むように、引き続き子どもが夢中になれる環境作りを行っていきたくと考えております。

【いろいろなものに変身】

ごっこ遊びやなりきり遊びが好きな幼児クラスの子どもたち。折り紙や画用紙でカバンやアクセサリを作ったり帽子やベストを身に付けて動物になりきったりと、いろいろな工夫をしながら遊ぶ姿があります。また、自分が見たことや経験したことをごっこ遊びに取り入れる姿もあり、そこから遊びの輪が広がることもあります。最近では作った制作物でごっこ遊びをすることを楽しんでいる姿が多く、先日はつき組が映画館ごっこを始めたことをきっかけに、はな・ほし組もその遊びに興味を持ち一緒に遊ぶ姿がありました。「映画にはチケットが必要だよね!」「ポップコーンとジュースはほしいね!」とつき組が必要なものや欲しいものを話し合って画用紙や折り紙で作って店員さんになり、はな・ほし組は席に座ってお客さんになり、それぞれが役になりきって楽しんでいました。楽しく遊ぶつき組の姿を見たはな・ほし組も、今度は自分たちでごっこ遊びを考えて楽しんでおり、パソコンや鉛筆を画用紙で作って仕事ごっこをしたり洋服を作ってアニメのキャラクターになりきったりと、友だちを誘い合って遊びの輪を広げていました。これからも子どもたちが自由に表現し遊ぶ姿を見守っていきたくと考えております。

【僕たち、私たちに任せて!】

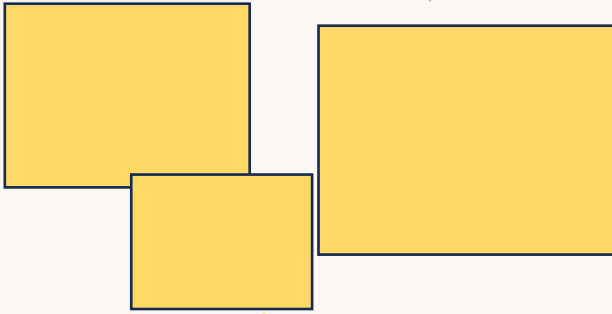
進級して約3ヶ月が経ち、生活の流れに慣れてきている様子があります。初めは様々なことが初めてで戸惑う姿もあったはな組でしたが、今では保育者の声掛けがなくても着替えや玩具の片付けなど、自分の身の回りのことを進んで行う姿が増えてきています。ほし組は年下の友だちと過ごすことでお兄さんお姉さんとして、手本になろうとする姿があります。年長児として自分の姿に自信を持つつき組は、年下児が困っていると「どうしたの?」「手伝おうか?」と優しく声を掛けたり手取足取り教えてくれたりする姿があります。中には自分のことだけではなく、床が汚れていたら帚で掃いてくれたり布団を敷くことを手伝ってくれたりと自ら進んで手伝う姿もあります。また、自分の身の回りのことを進んで行う中で、健康教育で教わった手洗い表を見ながら丁寧にいったり食後に鏡を見て口元を拭いたりなど、自分の身の回りの清潔にも興味関心を持つ姿があります。自分から出来た時には、「先生!もう終わっちゃった!」「僕、早くできるから手伝ってあげるね!」と、自信に満ち溢れた姿で伝えてくれます。まだ保育者に甘えたいという気持ちもある為、その気持ちを受け止め一緒に行いつつ、自分の姿に自信を持って行う子どもたちの姿を大いに褒めて、より自分の姿に自信を持てるようにしていきたいと考えております。



# 食育だより



## 先月の食育の様子



「そら豆」についてお話ししました。サヤから取り出すところを実際に見せると、「1個ずつお部屋みただね！」と観察していました。また、夏祭りに向けて梅シロップの仕込みをつき組と行ったことを、はな組とほし組のみんなに伝えると、「梅ジュース早く飲みたい♪」と出来上がりを楽しみにしているようでした。

## 7月の献立について

7月の目標は「夏野菜を食べよう」です。夏野菜には、紫外線から身を守るために必要な抗酸化作用をもつ栄養素が豊富に含まれています。また、水分やカリウムを豊富に含むものが多く、体温を下げてくれる効果も期待されます。気温が高い時には食欲も減退してしまう為、暑い夏を乗り切れるように子どもたちが食べやすい味付けにするなど工夫しながら献立にも様々な夏野菜を取り入れていきます。

### 夏バテ予防にピッタリ！おすすめレシピ

#### ネバネバ納豆丼



【材料】(4人分)

- |        |       |       |         |
|--------|-------|-------|---------|
| ・ご飯    | ・醤油   | ：小さじ1 |         |
| ・納豆    | ：3パック | ・みりん  | ：小さじ1.5 |
| ・オクラ   | ：5本   | ・和風だし | ：60cc   |
| ・モロヘイヤ | ：50g  | ・刻み海苔 |         |
| ・玉葱    | ：40g  | ・大葉   |         |

【作り方】

- ①だしをとり、調味料を入れて煮立たせる
- ②玉ねぎを加える
- ③オクラ・モロヘイヤの葉は塩ゆでし、刻む
- ④火が通ったら③を加える
- ⑤ご飯に盛り、大葉と刻みのりを散らす

旬の食材をふんだんに使い  
食べやすいので、子どもたちに  
夏に人気の献立です

### 家庭でできる食育

とうもろこしは保育園の献立でも人気の食材です。

とうもろこしをまるごと1本皮をむいて、調理し(蒸す、ゆでるなど)すぐに食べられるのは夏ならでは！

とうもろこしの皮むきを通して、皮やひげの感触を感じることができます。

スーパーや八百屋で手軽に手に入るのも嬉しいポイント。ご家庭でもぜひとうもろこしの皮むきをして、料理に取り入れてみてはいかがでしょうか。



# 保健のページ

今年の夏は気温が高くなる予報が発表されており、夏本番に向けて、こまめな水分補給の習慣や、徐々に暑さに身体を慣れさせる(暑熱順化)など対策を始めましょう。水分補給や体調管理に気をつけながら、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

## 暑熱順化について

体を暑さに慣れさせることが重要なため、実際に気温が上がり、熱中症の危険が高まる前に、無理のない範囲で汗をかくことが大切です。日常生活の中で、運動や入浴をすることで、汗をかき、体を暑さに慣れさせましょう。暑熱順化には個人差もありますが、数日から2週間程度かかります。暑くなる前から余裕をもって暑熱順化のための動きや活動を始め、暑さに備えましょう。

### 《有効な対策》

屋外(例) ウォーキング：意識して少し汗をかくような動きをしましょう。

室内(例) 入浴：シャワーのみで済ませず、湯船にお湯をはって入浴しましょう、入浴の前後に十分と適度な塩分を補給し、入浴して適度に汗をかくと良いでしょう。

\*せっかく一度暑熱順化ができて、終日暑さから遠ざかると暑熱順化の効果はなくなってしまいます。暑熱順化ができているかをいつも意識し、まだ暑熱順化できていない時には、特に熱中症に注意しましょう。

### 《暑熱順化が出来ていない可能性が高いタイミング》

梅雨の晴れ間：梅雨で雨が降り、気温が下がると暑熱順化した体も、元に戻ってしまいます。

梅雨明け：梅雨明け後は、晴れて気温が高くなる日が続くことが多くあり、暑熱順化できていないことで熱中症が急増します。

お盆明け：帰省や移動などで疲れている場合にも注意が必要です。

## 熱中症

### 1、子どもが熱中症になりやすい要因

- ① 発汗機能が未発達 ② 体格的特徴(熱しやすく冷めやすい) ③ 暑熱順化・季節馴化が遅い

### 2、子どもの熱中症を防ぐポイント

- ② 顔色や汗のかき方を観察しましょう。

子どもを観察した時、顔が赤く、ひどい汗をかいている場合には、深部体温がかなり上昇していると推察できるので、涼しい環境下で十分な休息をしましょう。

- ③ 適切な飲水行動を学習させましょう。

喉の渇きにに応じて適度な飲水ができる(自由飲水)能力を磨きましょう。

- ④ 日頃から暑さに慣れさせましょう。

日頃から適度な外遊びを奨励し、暑熱順化を促進させましょう。

- ⑤ 服装を選びましょう。

幼児は衣服の選択・着脱に関する十分な知識を身に付けていないため、保護者は熱放散を促進する適切な衣服を選択し、環境条件に応じて衣服の着脱を適切に行いましょう。



## 野外活動について

夏の野外活動は、暑さ指数(WBGT値)を基に行っていきます。暑さ指数(WBGT値)が31℃以上または外気温が35℃以上では室内活動に変更致します。プール活動の中止基準は、水温と気温を足した50℃以下、65℃以上です。

気温(参考)	暑さ指数(WBGT)	対応	熱中症予防運動指針
35℃以上	31℃以上	運動は中止	特別の場合以外に運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31~35℃	28~31℃	減速運動(激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いため、激しい運動や長時間の運動が上昇しやまない運動は避ける。10~20分の間に休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人等は運動を軽減または中止。
28~31℃	25~28℃	警戒(積極的な休憩)	熱中症の危険が高いため、積極的な休憩をとり適量の水・塩分を補給する。激しい運動では、30分おまくりの休憩をとる。
24~28℃	23~25℃	注意(積極的な水分補給)	熱中症による熱に警戒が必要である。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	注意(水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、運動水分・塩分の補給は必要である。市営マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するの注意。

